

平成 25 年度 第 6 回東区協議会次第

日時：平成 25 年 9 月 27 日（金）午前 10 時 00 分～正午
会場：東区役所 3 階 31、32 会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 諮問事項について

平成 26 年度東区役所費予算要求の概要について 【区振興課】

(2) 協議事項について

今後における高齢者福祉施策のあり方について 【高齢者福祉課】

(3) 地域課題について

ア 発進 10 について

イ 協議会委員会報告について

4 その他

(1) その他

(2) 10 月の開催予定 平成 25 年 10 月 11 日（金）午後 1 時 30 分から
会場 東区役所 3 階 31、32 会議室

平成 25 年 10 月 23 日（水）午後 1 時 30 分から
会場 東区役所 3 階 31、32 会議室

11 月の開催予定 平成 25 年 11 月 日（ ） 時 分から
会場 東区役所 3 階 31、32 会議室

5 閉会

第8号様式

浜市協第 114 号

平成 25 年 9 月 9 日

東区協議会 様

浜松市長 鈴木 康友

区協議会への諮問について

浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第 11 条第 1 項から第 3 項の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

記

- 1 諮問内容 別紙第 9 号様式のとおり
- 2 答申期限 別紙第 9 号様式に記載された期限のとおり

第9号様式

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	平成26年度東区役所費の予算要求の概要について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)					
対象の区協議会	東区協議会				
内 容	平成26年度東区役所費の予算要求の概要について諮問するもの。 詳細は別紙のとおり。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	答申 平成25年10月11日				
担当課	東区区振興課	担当者	菊池 渉	電話	424-0115

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成26年度 東区役所費 予算要求の概要

東区役所

(単位：千円)

	26年度当初 要求額A	25年度当初 予算額B	増減 (A-B)	内 容
東区役所費		281,502	△ 281,502	
人件費(附属機関の委員等)		2,070	△ 2,070	・産業医報酬 ・区協議会委員報酬
区管理運営事業		48,270	△ 48,270	庁舎、公用車の維持管理経費ほか
協働センター管理運営事業		50,673	△ 50,673	天竜公民館ほか4館の維持管理経費
区協議会運営事業		330	△ 330	区協議会に係る事務経費
地域力向上事業		13,617	△ 13,617	・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・地域課題を解決する区企画事業
歴史街道文化振興事業		2,000	△ 2,000	東区の地域資源である歴史街道を活用し地域づくりを推進
行政連絡文書配布事業		44,712	△ 44,712	行政文書の配布に係る経費
自治会振興事業		119,830	△ 119,830	・自治会集会所整備助成事業 ・防犯灯設置維持管理助成事業

H26年度 地域力向上事業予算要求事業一覧

H25.9.27東区協議会資料

【助成事業】

(千円)

	H26 予算要求額	H25 予算額
	4,300	3,800

【区民活動・文化振興事業】

事業名	H26 予算要求額	H25 予算額	H26 所管課
1 東区俳句の里づくり事業	2,600	2,500	区振興課
2 第6回東区長杯キンボール大会	450	365	区民生活課
3 『東区・家康公ゆかりの里』推進事業	1,500	1,500	区民生活課
4 東区地域福祉講演会	280	280	社会福祉課
5 東区大型商業施設との連携事業	150	152	区振興課 長寿保険課
6 東区市民映画音楽祭	2,000	1,307	区振興課
7 劇団たんぽぽ演劇公演	0	1,000	区民生活課
計	6,980	7,104	

【区課題解決事業】

事業名	H26 予算要求額	H25 予算額	H26 所管課
1 東区 交通安全声かけ運動 ～交通事故ワースト1脱出大作戦～	2,800	2,500	区振興課
2 中学生自転車危険予知体験教室	1,350	1,200	区振興課
3 健康力アップ in 東区	320	320	健康づくり課
4 ノルディック・ウォークで健康力アップ	50	なし	健康づくり課
計	4,520	4,020	

【区長裁量】

	H26 予算要求額	H25 予算額
	3,000	※全区で 10,000

合計

18,800	14,924
--------	--------

※を含まず

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	今後における高齢者福祉施策のあり方について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>[現 状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後における高齢者人口の急増に伴う高齢者関係事業費の伸びを見据え、市単独高齢者大型給付事業の計画的な見直しに取り組む必要がある。 ・ 高齢者をとりまく状況の変化により、さまざまな不安を抱える高齢者や立場の弱い高齢者が増加しており、限られた財源の中では施策の方向転換を図る必要がある。 ・ このため、今後における高齢者福祉施策のあり方について、検討を始めた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団塊の世代を中心に急増する高齢者人口 H25: 19 万人 → H27 推計: 21 万人 ・ 高齢者関係事業費の著しい伸び H25 予算: 183 億円 (H17 決算の 1.5 倍) ・ 市単独高齢者大型給付事業の今後の伸び H25 予算: 8.9 億円 → H29: 10 億円超 <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者社会参加促進事業 (バス・タクシー券交付) ② 敬老支援事業(敬老祝金・祝品) ③ 敬老支援事業(敬老会開催費補助金) 				
対象の区協議会	全区の協議会				
内 容	<p>[説明事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者人口の推移と推計 ・ 高齢者の実態 ・ 高齢者の福祉ニーズ ・ 高齢者関係事業費の推移 ・ 市単独大型給付事業の状況 ・ 今後における施策のあり方 				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明にはパワーポイントを使用。 ・ 説明 30 分、質疑応答 20 分の計 50 分程度を予定。 				
担当課	高齢者福祉課	担当者	密岡、鈴木	電話	457-2789

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

中 区協議会 (10/10) 東 区協議会 (9/27)
西 区協議会 (9/25) 南 区協議会 (9/26)
北 区協議会 (9/27) 浜北区協議会 (9/26)
天竜区協議会 (10/11)

浜松市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 資料

今後における 高齢者福祉施策の あり方について

健康福祉部高齢者福祉課

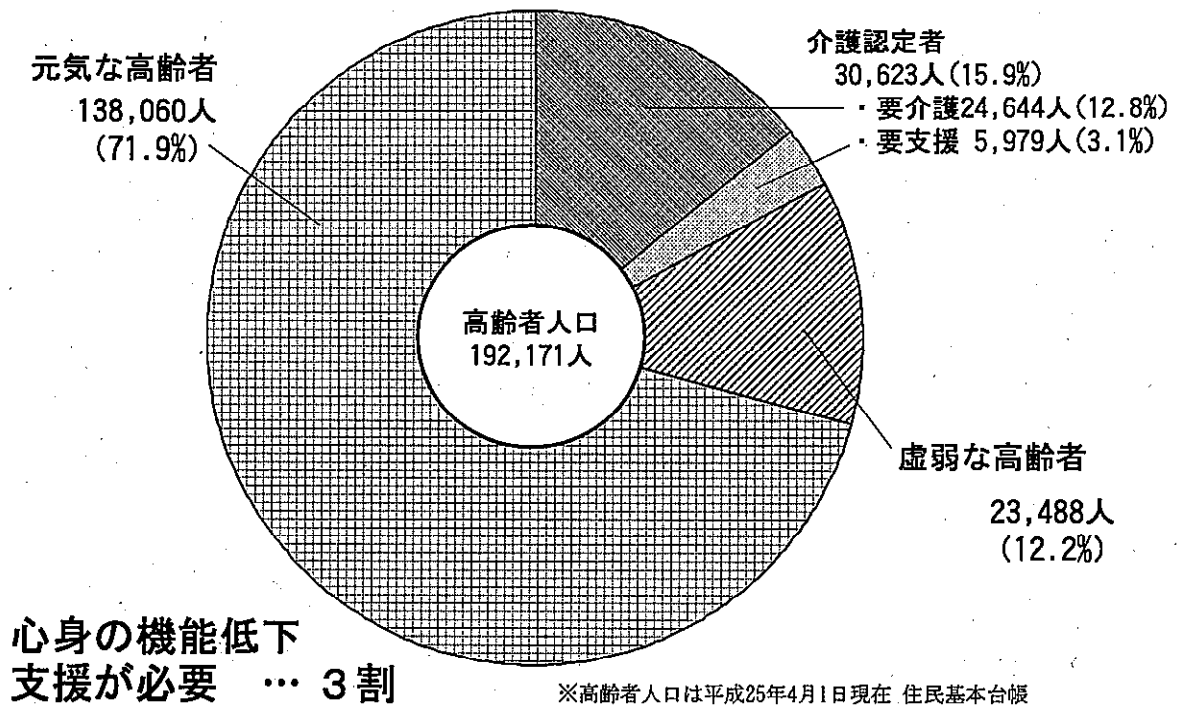
■ 主な内容

P1

- ・ 高齢者人口の推移と推計
- ・ 高齢者の実態
- ・ 高齢者の福祉ニーズ
- ・ 高齢者関係事業費の推移
- ・ 市単独大型給付事業の状況
- ・ 今後における施策のあり方

心身の状況

P6



※高齢者人口は平成25年4月1日現在 住民基本台帳
※虚弱な高齢者(二次予防事業対象高齢者)は平成24年度実績
※介護認定者は平成25年3月末現在

高齢者の福祉ニーズ

P7

「はままつ友愛の高齢者プラン」 策定に伴う実態調査

調査基準日:平成22年11月1日現在

調査対象等:高齢者一般調査

3,350件/5,000件(67.0%)

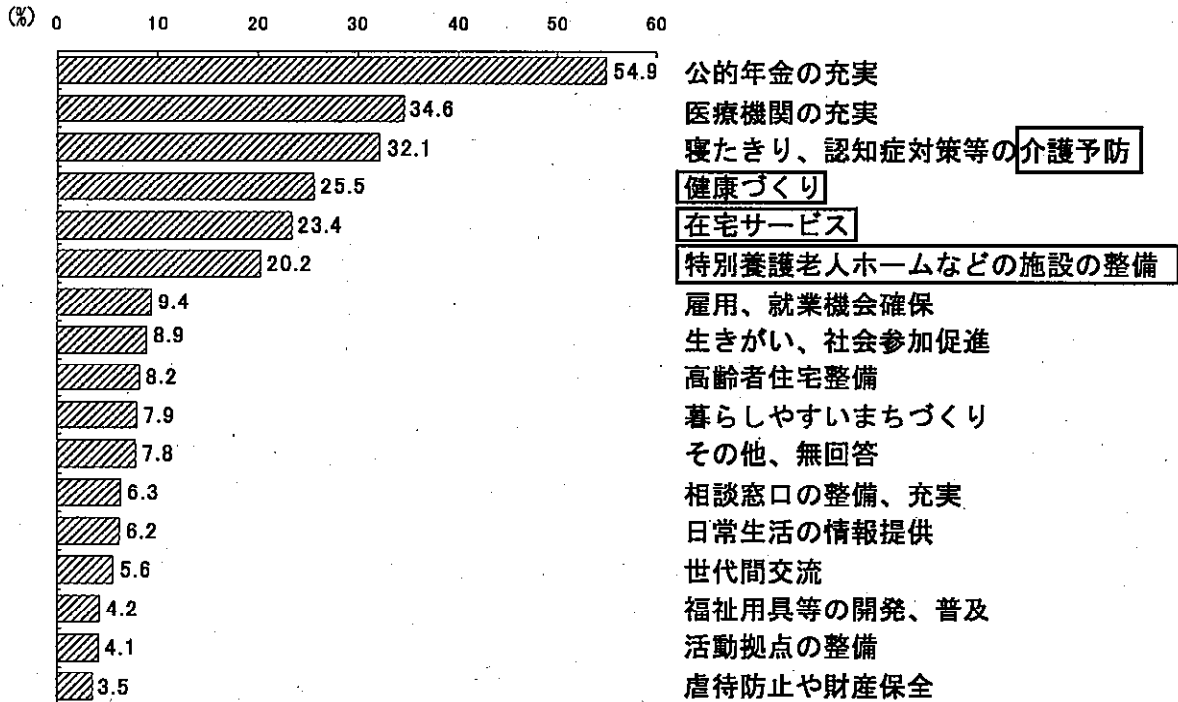
若年者調査

1,358件/3,000件(45.3%)

※介護認定者は除く

実態調査結果（抜粋）

高齢期を快適に暮らすために重要と思う施策



高齢者のとらえ方（まとめ）

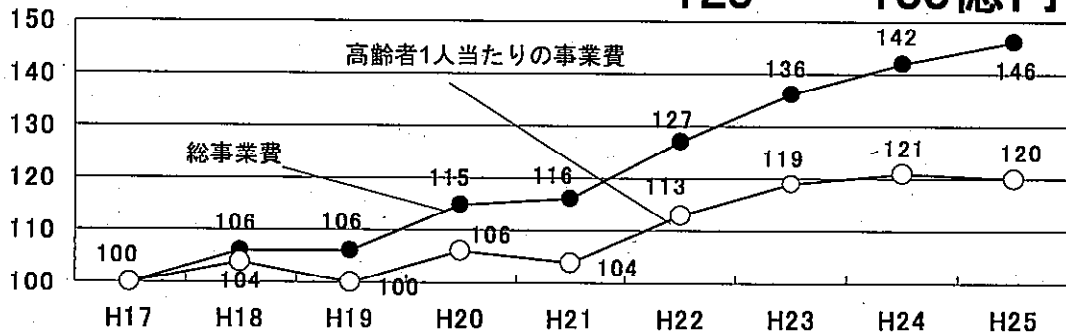
- ➡ 高齢者人口増大（H31に約22万人）
⇒ 特別な存在でなくなる
- ➡ 団塊の世代（約4万人）の位置づけ
⇒ 支える側→支えられる側
- ➡ 高齢者を支える人数（H17:3.4人→H29:2.2人）
⇒ もはや支えきれない状況に
- ➡ 3割が心身機能の低下
⇒ 介護予防・施設整備などへのニーズ

高齢者関係事業費の推移

P10

[H17を100とした指数]

125 → 183億円



[高齢者関係事業費の推移]

(単位: 億円)

区分	H17決算	H19	H21	H23	H25当初
(1)老人福祉費	40.9	34.5	30.6	41.4	37.9
(2)介護保険事業繰出金	47.2	53.8	59.0	65.0	74.1
(3)老人医療事業繰出金	37.3	44.3	0.03	-	-
(4)療養給付負担金	-	-	44.6	51.6	57.8
(5)後期高齢者医療事業繰出金	-	-	11.4	12.1	13.6
合計	125.4	132.6	145.6	170.1	183.4
1人当たりの事業費	79,000円	79,000円	82,000円	93,000円	95,000円

市単独大型給付事業 (当課所管)

P11

- ① 高齢者社会参加促進事業
(バス・タクシー券等の交付)
- ② 敬老支援事業
(敬老祝金・祝品の贈呈)
- ③ 敬老支援事業
(敬老会開催費補助金の交付)

① 高齢者社会参加促進事業(S49~)
(バス・タクシー券等の交付)

目的:社会参加の促進

内容:ナイスパスやタクシー券など
7種類から選択

対象:70歳以上(所得制限200万円)

単価:年額6,000円分

規模:5.4億円 対象者:117,000人

② 敬老支援事業(S45~)
(敬老祝金・祝品の贈呈)

目的:敬老(長寿の節目のお祝い)

内容:88歳 30,000円+祝品(菓子器)

99歳 50,000円

100歳 祝品(せん茶、額入祝状)

101歳以上 祝品(せん茶、祝状)

規模:1.4億円 対象者:4,780人

③ 敬老支援事業 (S47~)

(敬老会開催費補助金の交付)

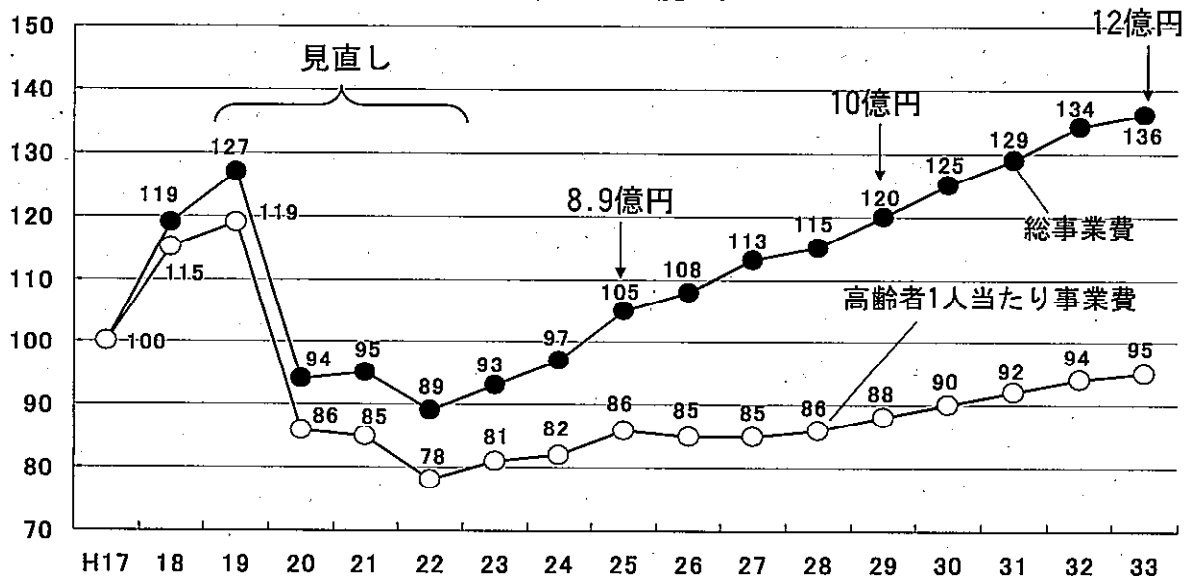
目的: 地域での敬老会開催の支援
内容: 自治会等に補助
対象: 75歳以上 約105,000人
単価: 2,000円
規模: 2.1億円

市単独大型給付事業費の推移

【主な見直し】

※H17を100とした指数

- ① H19 バスタク交付金額引下 △1,000円 (7,000円⇒6,000円)
- ② H20 バスタク所得制限導入 200万円以下
- ③ H18~22 敬老会年齢引上 (段階的に70→75歳)
- ④ H22 祝金77歳廃止 (10,000円→廃止)





市単独大型給付事業費の状況（まとめ）

P16

事業費の今後の著しい伸び

H25当初予算 8.9億円



対象者の増

団塊の世代

H29 70歳到達

⇒ バス・タクシー券交付対象

H34 75歳到達

⇒ 敬老会対象



H29予算推計 約10億円

H33予算推計 約12億円



今後における施策のあり方

P17

施策の方向転換

元気な高齢者 ⇒ 不安を抱える高齢者
立場の弱い高齢者



介護予防・特養整備の推進

限られた財源の中で捻出

⇒ 市単独大型給付事業の
計画的な見直しが必要

■ 次回のテーマ

今後のあり方(方向転換の必要性・具体的施策)

それぞれの事業の見直し

☞ 見直しの是非(現状維持か見直しか)

☞ 見直す場合の手法

- ・対象者の制限(縮小)
- ・単価引き下げ(縮小)
- ・事業廃止(廃止)

など

☞ 見直し時期

高齢者給付見直し検討

バス・タクシー券交付 敬老祝い金 敬老会補助

浜松市 事業費増大で

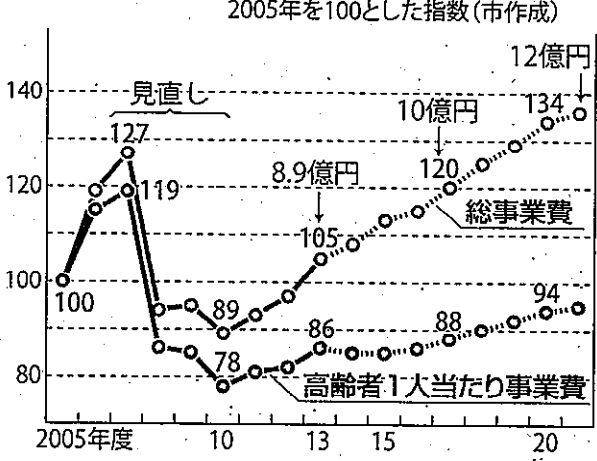
浜松市は高齢者に給付している市単独事業について見直しに向けた検討を始めた。給付額の大きい高齢者社会参加促進事業（バス・タクシー券の交付）、敬老祝い金・祝い品の贈呈、敬老会開催費補助の3事業を取り上げ、18日に開いた市社会福祉審議会の高齢者福祉専門分科会で見直しの是非を審議した。

市高齢者福祉課は、額が著しく伸びる「高齢者人口の増加」と説明し、「限られた財源の中で、大型給付事

業の計画的な見直しが必要と考えている」と検討の理由を述べた。

3事業に関する分科会の審議は非公開で、各事業について現状維持か見直しか委員に

浜松市単独大型給付3事業費の推移



高齢者向け給付事業

見直し検討の対象となった事業の概要は次の通り。対象人数と給付規模は13年度予算ベース。

【高齢者社会参加促進事業】1974年度開始。バス、電車の乗車券やタクシー券など7種類から一つを交付。年間所得200万円未満の70歳以上、1人年額6000円分。対象者11万7000人、給付規模5.4億円。

【敬老祝い金・祝い品の贈呈】1970年度開始。長寿の節目のお祝い。88歳—現金3万円と祝い品、99歳—現金5万円、100歳—祝い品、101歳以上毎年—祝い品。対象者4780人、給付規模1.4億円。

【敬老会開催費補助】1972年度開始。地域で敬老会を開催する自治会などに補助。75歳以上、1人2000円補助。対象者10万5000人、給付規模2.1億円。

尋ねた。見直し場合は給付対象者の絞り込み、単価の引き下げ、実施時期について意見を聞いたという。市は年度内に開く次回分科会で見直し案を提示する。

市はこれまでも各事業単位で見直しを行い、バス・タクシー券交付金額の減額や、敬老会補助の対象年齢の引き上げ、77歳の祝い金の廃止などを実施してきた。

市の高齢者関係事業費（老人福祉費、介護保険事業繰出金、療養給付負担金など）は市町村合併時の2005年に125億4千万円（1人当たり7万9千円）だったが、13年度は当初予算額で188億1千万円（同9万5千円）と46%増えた。このうち検討対象3事業は段階的に給付規模を縮小しながらも05年度の8.4億円から13年度は8.9億円に事業費が増加。団塊世代

が70歳に到達する17年度は約10億円、75歳を迎える21年度は約12億円に上ると推計している。

風紋

高齢者給付事業

浜松市は市単独事業で長年実施してきた高齢者向け給付事業の見直しを始めた。対象となっているのは、社会参加を促すためのパス・タクシー券の交付、敬老祝い金・祝い品の支給、敬老会開催費補助の3事業。市民生活に身近な施策だけに見直しは簡単ではないだろうが、急速に少子高齢化が進む中で、事業の在り方を検討することには意味がある。

る。

市は高齢者人口の増加に伴って今後の給付額の著しい伸びが見込まれるとし、「限られた財源の中、大型給付事業の計画的な見直しが必要」と検討の理由を説明する。3事業の本年度給付額は計8億9千万円。団塊世代が70歳に到達する2

わっている。平均寿命の延びとともに、高齢者の価値観や意識も多様化している。一律に配分するやり方はいったん立ち止まって考える必要がある。

2010年の市民調査で高齢者に重要と考える施策を聞いたところ、公的年金の充実、認知症対策などの

「年齢別」から「能力別」に切り替えるべきだと認識でまとまったことは、各自治体の今後の高齢者施策にも大きく影響するだろう。

浜松市は給付3事業の見直し案を年度内に示すとしている。もちろん長寿を敬う精神や高齢者の社会参加を後退させてはならない。とはいえ、熟慮の結果、見直しが必要だと判断した場合は、市民に丁寧の説明することともに、高齢者施策をどう再構築するかを併せて示すことが不可欠だ。県内最多の人口を持つ同市の動向を、他の自治体も注目している。

017年度は10億円、75歳を迎える21年度には12億円に増加すると推計している。3事業はいずれも1970年代に始まった。段階的に見直してきたとはいえ、施策がスタートした40年近く前と社会情勢は大きく変

介護予防、在宅サービスや特養ホームなどの施設整備が上位を占めた。求めているのは社会保障に直結する政策であり、国政の大きな課題となっている。政府の社会保障制度改革国民会議が先月29日、社会保障負担はこれまでの

（浜松総局・風間ほえみ）

ニーズ見極め見直しを

を後退させてはならない。とはいえ、熟慮の結果、見直しが必要だと判断した場合は、市民に丁寧の説明することともに、高齢者施策をどう再構築するかを併せて示すことが不可欠だ。県内最多の人口を持つ同市の動向を、他の自治体も注目している。

順次見直す方針

団塊世代の高齢化 交通券や敬老祝い金

団塊世代の高齢化による高齢者人口の急増に伴い、浜松市は、お年寄りへのバス・タクシー券の配布や敬老祝い金などの福祉事業を見直す方針を明らかにした。二十二日の市議会厚生保健委員会で、高林泰秀健康福祉部長は「来年度から順次見直したい」と説明。市議からは地域の実情に即した対応を求める声が出た。

(木原育子)

市議から慎重意見も

見直し対象は「七十歳以上一人当たり年六千円交付のバスやタクシー券」「長寿の節」に三万五千円などを支給する敬老祝い金「敬老会を開く自治会への補助」の三事業。四十年ほど前から市単独で進めてきたが、本年度で八億九千

者にとつて頼りになる施策をやっていたと述べた。これに対し、市議からは小黒啓子氏（共産）が「ただ削減するのではなく、捻出財源でどんな施策をするのかを並行して見せなければ納得できない」、鈴木育男氏（自民）が「事情は分かるが、市民サービスを低下させれば元も子もない」と

指摘。丸井通晴氏（市民クラブ）も「中心部や中山間地域など地域で実情は違う。それぞれ自治会などから話を聞いて」と求めた。市によると昨年度から、一九四七～四九年に生まれた「団塊世代」が高齢者（六十五歳以上）に含まれるようになった。今年の中内の高齢者人口は十九万二千五百六十四人（高齢化率24・1％）で、〇五年比で約三万四千人（同5割増）増えた。二一年には二十二万七千五百

中日新聞 平成 25 年 8 月 23 日付抜粋

六十二人（同29・1％）に達する見込み。など高齢者への福祉事業と〇五年度の一・五倍の高齢者人口の増加に伴い、事業費も増え、本年度当りになってきている。

高齢者給付を見直し

来年度から段階的に

浜松市は高齢者人口の急増を見据えた市単独高齢者大型給付事業の計画的見直しについて、来年度から段階的に実施する方針を明らかにした。高林泰秀健康福祉部長が22日の市議会厚生保健委員会で説明した。

林部長は「優先度を決めて来年度から順次、改革したい」とした。委員からは「削った財源を何に充てるのか、合わせて示さなければ理解が得られない」「3事業は市の高齢者福祉の物差しになる。長生きが悪いことという印象を与えかねない」などの意見が出た。高林部長は「不安を抱える高齢者を支援する施策も合わせて提案したい」として理解を求めた。

見直し対象の3事業は①高齢者の社会参加促進のためのバス・タクシー券交付②敬老祝い金・祝品の贈呈③敬老会開催費補助金

静岡新聞 平成 25 年 8 月 23 日付抜粋



第3回地域福祉委員会議事概要

日時 平成25年9月17日(火) 10:00~11:45

会場 東区役所 小会議室

出席者 石津幸子、稲垣邦圓、亀田順子、中澤親一、袴田勝次(50音順、敬称略)
高瀬定佳長寿保健課長、増田恒裕社会福祉課長、天野憲一健康づくり課長

事務局 金山岳史区振興課

【議題】

○ 協議テーマについて

高齢者の地域における見守りについては、地域へ的高齢者に関する情報提供と理解拡大が必要である。

テーマの実現に向けて、高齢者を対象とした講演会や、若い世代へ的高齢者への理解を深める啓発を実施していく必要がある。

○ 高齢者の現状把握について

(1) 浜松市の高齢者対策について

(2) 東区の高齢者対策について

浜松市では、地区社会福祉協議会の協力により「浜松市地域福祉計画(H26~H30)」を作成している。

高齢者対策としては、敬老会、バスタクシー券配布、長寿の祝いに関して見直しを進めている。

健康であるために、福祉センターなどで高齢者対象の講座を開催している。

委員の意見交換

(委員会らの意見)

○近年の少子高齢化は、深刻な地域課題であるが、高齢者の現状を把握していない。

○福祉はもちろん、防災の観点からも地域の高齢者の現状を把握する必要がある。

○東区内の自治会において、自治会名簿を作成して高齢者をはじめ、地域住民の現状をしっかりと把握できている自治会がある。その手法を東区内に広げることで、福祉や防災に役立てられないか。

○敬老会については、地区で開催するより単位自治会で実施するほうが経費削減、出席者増加など効果が上がるのではないか。高齢者は、自宅からの移動が困難であり、徒歩では300mを目安にすべきである。

○健康づくりは、高齢者のみならず、区民(市民)全体にかかわるテーマであるため、高齢者を含めた施策を展開しても良いと考える。地域では、ラジオ体操など年齢を問わず参加できる事業を実施してはどうか。

○敬老会は、子ども(小・中学校)が主体で実施できないか。高齢者が高齢者を祝う必要は無いのではないか。敬老会の実施意義を再検討すべきであり、均一に物資を配布することが平等ではないと考える。

○高齢者の現状は、民生委員が一番詳しい情報を保管しているが、情報をうまく活

用しなければならない。特に、緊急時には連絡・協力体制を確立するため、単身高齢者等の情報は、地域に提供する必要があると考える。

○敬老会は、高齢者の同窓会的な役割もあるため、開催の見直しの際には十分な検討が必要である。

○地域で高齢者を見守っていくためには、自治会の班や組などの最小単位で活動することが効果的である。昔の「向こう3軒両隣」という考え方は、現代の地域課題の解決に役立つと思う。

【次回検討内容】

○東区の見守り体制として、自治会が重要な役割を担っている。そこで、東区の自治会について調査し、先進的な取り組みを実践している自治会をモデル自治会として研究することで、高齢者を見守り体制の検証を行う。

《事務局》東区内の自治会組織図、町別高齢者人口及び高齢化率を資料として用意する。

第3回交通安全委員会 議事概要

日時 平成25年9月10日(火) 14:00~15:30

会場 東区役所 33会議室

出席者 市川千次、今宿康一、小川早苗、加藤ゆき子、鈴木康弘、玉木澄男、田村滋治、
米山英二(50音順・敬称略)

森茂雄(東警察署交通第一課)、菊池渉(区振興課長)、鈴木敏(区振興課長補佐)

事務局 中田希(区振興課)

1 米山委員長によるあいさつ

2 東区の交通事故状況について(森警部捕による説明)

- ・ 8月29日に発生した西ヶ崎町での死亡事故について
- ・ 東区の交通事故の特徴として、事故の4割が追突事故、3割が出会い頭の衝突であり、県下でも突出して多い。
- ・ 信号無視や一時不停止が他の違反に比べて多く、運転マナーが悪い。

3 敬老会で配るチラシについて

- ・ 9月16日(祝・月)前後に各連合自治会主催で行われる敬老会で、交通安全を呼びかけるチラシの配布やのぼり旗の設置を行う。
- ・ チラシの内容について

【委員からの意見】

遠州弁のアイデアは良い。

他の配布物がA4サイズなので、同じサイズにして欲しい。

他の配布物は白い紙なので、黄色い紙が目について良い。

交通安全の3つのポイントにそれぞれ補足説明があった方が良い。

4 今後の啓発活動について

- ・ 自分が危険な運転をしている自覚が無いので、意識改革をするのが難しい。
- ・ 自分自身でヒヤットする体験をしないと、交通事故の危険に気付かない。
- ・ インパクトのある啓発が必要。

次回開催日

平成25年10月23日(水) 協議会が終わり次第～

東区役所 31・32会議室

※9月18日(水)に、江西会館に非常勤でお勤めの内山さん(丸塚町在住)から電話があり、蒲地区の敬老会で配られた交通安全のチラシがとても分かりやすく良い内容なので、江西会館で発行している広報に掲載したいとのこと。使用許可についての電話だったので、快諾した。11月号に掲載予定。

本日はおめでとうございます！

東区は交通事故多発地域です！

皆さんが事故に遭わないために、次の3つのポイントを心がけてください。



- ★ 交通事故は、**自宅の2km 圏内**で多発！
慣れた道ほど気を付けよう
- ★ 交通事故は、**夕方の帰宅時間**に多発！
夕暮れは思っているより見えにくい
- ★ 出かける時は、**反射材を身につけましょう！**
自分の身は自分で守ろう

遠州弁 交通安全標語

「ちゃつと行きゃあ 渡れるらあ」が命とり

ちいーとばか 遠回りでも 横断歩道を渡らすか

自転車も 止まらにゃおえんに 交差点

ひずるしく 光る安全 反射材

かいだるい そんな日は 運転やめときない

区協議会の開催日程（9月）について

このことについて、次のとおり区協議会が開催されますのでお知らせします。

協議会名	回数	日時	場所	会議内容(予定)	傍聴定員	問合先
中区協議会	第5回	9月25日(水) 12時30分～	浜松市役所 北館2階 201会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・地域課題について ・その他	6人程度 (先着順)	中区役所 区振興課 TEL:457-2210
東区協議会	第6回	9月27日(金) 10時00分～	東区役所 3階 31、32会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・(協議)今後における高齢者福祉施策のあり方について ・地域課題について ・その他	10人程度 (先着順)	東区役所 区振興課 TEL:424-0115
西区協議会	第5回	9月25日(水) 13時30分～	西区役所 3階 大会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・(協議)今後における高齢者福祉施策のあり方について ・地域課題について ・その他	5人 (先着順)	西区役所 区振興課 TEL:597-1112
南区協議会	第6回	9月26日(木) 13時30分～	南区役所 3階 大会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・(協議)今後における高齢者福祉施策のあり方について ・地域課題について ・その他	10人 (先着順)	南区役所 区振興課 TEL:425-1120
北区協議会	第6回	9月27日(金) 13時30分～	北区役所 3階 31・32会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・(協議)今後における高齢者福祉施策のあり方について ・地域課題について ・その他	5人 (先着順)	北区役所 区振興課 TEL:523-1168
浜北区協議会	第5回	9月26日(木) 13時30分～	浜北区役所 3階 大会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・(協議)今後における高齢者福祉施策のあり方について ・地域課題について ・その他	10人 (先着順)	浜北区役所 区振興課 TEL:585-1141
天竜区協議会	第6回	9月26日(木) 14時00分～	天竜区役所 2階 21・22会議室	・(諮問)平成26年度区役所費予算要求の概要 ・(協議)今後における高齢者福祉施策のあり方について ・(協議)飲料水供給施設の施設整備に係る受益者分担金制度の見直しについて ・(協議)公共施設再配置計画の進行状況について ・(報告)佐久間給食センターの廃止について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	天竜区役所 区振興課 TEL:922-0013

市民部 市民協働・地域政策課 担当：中谷
TEL 457-2243 (内線2243)